

第2次図書館ビジョン基本理念・基本方針案について

〔基本理念〕

市民の生活や活動を支える「知の拠点」となる図書館

情報化社会の急速な進展や少子高齢化の進行など、社会情勢が目まぐるしく変化している。このような状況にも市民が的確に対応できるよう、今後の図書館を、市民の読書活動を支援するだけでなく、「市民の生涯にわたる学習を支える場」「市民の生活や地域の課題解決に役立つ場」「札幌市の知的財産を後世に継承するとともに、市民の新たな活動を醸成する場」と位置付け、これからの図書館運営の基本理念を「市民の生活や活動を支える『知の拠点』となる図書館」とする。

〔基本方針〕

市民の生活や活動に役立つ図書館

本・人・文化を結び、新たな活動を生み出す図書館

情報発信と市民の参画により、成長する図書館

役立つ（図書館）

結ぶ（図書館）

発信する（図書館）

図書館として求められる機能やサービスを高めていく
図書館には、日常生活上や仕事、地域活動などの様々な場面で直面する課題に対して、その解決を支援する機能の充実が求められている。そのため、図書館は地域や札幌に関することも含め、印刷媒体から電子媒体まで、多様な市民のニーズに応じて、資料や情報を幅広く収集・保存していく。また、利用者が的確に情報を得ることができるよう、分かりやすく、使いやすい資料・情報を提供することにより、市民に「役立つ図書館」の実現を目指す。

自主的な学習意欲を高め、新しい活動を醸成していく
図書館が持つ様々な資料や情報を提供することにより、人と本を結び、さらに誰もが気軽に図書館を利用することにより、人と人をつなぎ交流する場を創出していく。特に子どもが、幼少期から本との出会い、人との出会いを通して、知識を深め豊かな感性を磨く場を創出していく。それらにより、図書館を利用する市民が、様々な知識や情報を得て、札幌の生活文化を再認識するとともに、新しい活動を醸成していく場として「結ぶ図書館」の実現を目指す。

広く情報を発信するとともに、市民の参画を促す
より多くの市民に、図書館に関心を持ち、積極的に利用してもらうためには、図書館の持つ様々な情報を有機的に結びつけ、市民にとって価値ある新しい情報を生み出し発信していく必要がある。さらに、多様化する市民ニーズに応えるようサービスの質を向上させるため、ボランティアをはじめとする様々な市民との協働を促進するとともに、効率的・効果的な運営を図りながら「発信する図書館」の実現を目指す。

〔施策の方向性〕

施策の方向性 1

あらゆる世代に対応した資料の収集 -

施策の方向性 2

分かりやすく、使いやすい情報提供 -

施策の方向性 3

電子サービスの充実 -

施策の方向性 1

新たな文化との出会いの場の提供 -

施策の方向性 2

誰もが利用しやすいサービスの整備 -

施策の方向性 3

子どもの読書環境の充実 -

施策の方向性 1

積極的な情報発信 -

施策の方向性 2

市民参画の促進 -

施策の方向性 3

効率的・効果的な図書館運営 -